



審判(副)委員長



## 戦評用紙

種別 **バレーボール (精神)** 会場 **小浜市民体育館**

平成 **30** 年 **10** 月 **14** 日 日曜日 第 **2** 日目

特設Aコート 第 **9** 試合

1回戦(第 試合)  準決勝(第 試合)  3位決定戦  決勝戦  交流戦(第 試合)

◎試合結果 (該当する種別にレ印)

勝利チーム	}	25	—	17	}	0	福岡県	都道府県、指定都市名
<b>埼玉県</b> <b>2</b>		25	—	21				
都道府県、指定都市名		□	—	□				

【審判員】  
 主 審：熊谷 陽(福井県) 副 審：榊田 昭二(福井県)  
 記録員：東山 裕紀(福井県) A・S：宮川 晴加(福井県)

【戦 評】 記載者：古田 哲也

..... 前回大会覇者福岡県とこれまで全試合ストレートで勝ち上がってきた埼玉県との決勝戦.....

..... 第1セット、両チームとも持ち味の堅い守備でお互い譲らぬ展開となる。先にリードしたのは.....

..... 埼玉県であった。8番原のブロックから流れを作った埼玉県が4連続得点で福岡県を引き離.....

..... す。福岡県も2番富安を中心にブロックが機能し始め、簡単に相手にリズムをつかませない.....

..... しかし、最後はミスの少ないバレーでつなぎ切った埼玉県が第1セットをものにした。続く第.....

..... 2セット、序盤で抜け出したのはまたもや埼玉県であった。2番藤田のサービスエースなど.....

..... 一挙5得点した埼玉県が差を広げる。その後は福岡県4番小野と埼玉県13番櫻井の壮絶な.....

..... 打ち合いが展開されるなど、白熱したゲームとなった。終盤、会場の大声援を受け、4番小野.....

..... が3連続サービスエースを決めるなど福岡県が奮起し、ついに同点に追いつく。しかし、最後.....

..... は埼玉県8番原が相手コートにスパイクを沈め、埼玉県がストレートで勝利し、優勝を飾った.....